



すくすく



附属小学校
生活部だより第2号
令和7年7月15日

いよいよ待望の夏休みが始まります。遠方への旅行や親戚との再会など、すでに楽しみにされているご家庭も多いことでしょう。しかし、今年も猛暑が予想されており、体調を崩しやすい時期でもあります。暑さ対策をしっかりと行い、思い出に残る夏休みになることを願っております。

わくわくどきどきの夏休みですが、何気なく過ごしていると、あっという間に終わってしまいます。この期間に、普段できないことや新しいことに挑戦したり、一つのことじこにじっくり取り組んだりするなど、「今しかできない経験」を、ぜひお子様と共に味わってみてください。

さて、近年子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。特に、インターネットの急速な普及と技術の進歩により、スマートフォンやタブレット端末、インターネット通信が可能なゲーム機などが、子どもたちの身近な存在となっています。これらの機器は非常に便利で、生活を豊かにしてくれる一方で、使い方を誤るとトラブルや依存、さらには犯罪被害につながる危険性もあります。

夏休みはこうした機器に触れる時間が増える傾向があるため、各ご家庭で使用ルールや時間の管理について今一度話し合ってください。たとえば、有害サイトをブロックするフィルタリングや、使用時間を制限するファミリー設定など、インターネット環境を整えるとともに、保護者の見守りのもとでの利用が、子どもたちを守ることに繋がります。

文部科学省では、こうしたインターネット利用に関する家庭向けの資料として、保護者・教職員向けリーフレット『安全で安心なインターネット利用のために』を公開しています。この資料では、ネットやSNS、オンラインゲームの危険性とその対策、家庭でできるルールづくりのポイントなどが分かりやすくまとめられています。話合いのきっかけやご家庭での対応の参考として、ぜひご覧ください。

加えて、こども家庭庁でも、青少年のネット利用に関する啓発リーフレットを作成しています。令和7年1月版には、新たに加えられた内容も含まれており、最新の情報を確認することができます。以下のURLからどちらの資料も閲覧可能です。必要に応じて印刷し、ご活用ください。

文部科学省『安全で安心なインターネット利用のために』

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/1388294_00001.htm

こども家庭庁「青少年のインターネット利用に関する啓発資料」

<https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyuu/leaflet>

最後に、生活部から保護者の皆様へのお願いです。夏休みを充実したものにするためには、何より健康と安全が第一です。感染症や熱中症の予防、交通ルールや基本的な生活習慣・マナーの徹底、外出時の時間や行き先の確認などを、ぜひご家庭でご配慮ください。詳しくは「夏休みの暮らしについて」のプリントをご覧ください。緊急時の連絡先等も記載されています。学校でも、夏休みの過ごし方について学級活動の中で指導を行ってまいります。

子どもたちはもちろん、保護者の皆様やご家族にとっても、有意義で心豊かな夏休みとなりますよう、心より願っております。



(生活部長 玉井 淳博)

笑顔と心と未来を「つなぐ」ファミリー活動

今年度も、ファミリー活動がスタートしました。附属小学校では、縦割り班活動のことを『ファミリー活動』と名付け、各組団で八つの班を編成し活動を行っています。ファミリー活動では、遊びや清掃、遠足など、1年を通して異学年で交流する活動がたくさんあります。

5月中旬には、1回目のファミリー遊びが行われました。事前に6年生が中心となって遊びを計画し、当日は教室や運動場に楽しそうな声が響いていました。

異学年での交流であるファミリー活動を通して、下学年は上学年への憧れのまなざしを抱き、上学年は下学年への思いやりの心を育んでいきます。また、これまで脈々と受け継がれてきた附属小学校の伝統を未来へとつなげていきます。今年度も子どもたちが生き生きと活動し、伸びていけるよう、創意工夫しながら活動していきたいと思ひます。

(生活部 河野 幹大)



頑張っています！ファミリー清掃

5月12日より、ファミリー清掃が始まりました。各ファミリーが、それぞれの清掃場所を担当しています。ファミリー清掃の開始までは、「いつから、ファミリー清掃始まる？」と質問してくる子どもたちが多かったです。それほど、附属小ではファミリー清掃が当たり前のものであり、楽しみにしている活動の一つです。特に6年生は、慣れるまでの間、1年生を教室まで迎えに行き、手をつないで清掃場所まで連れて行きます。とにかく、6年生はとても優しいのです。

ファミリー清掃のよさは、上の学年のお兄さん、お姉さんが手本となり、下の学年の子どもたちに掃除の仕方を一から教えてくれるところにあります。下の学年の子どもたちも少しずつ掃除が上手になってきています。「上手にできているよ」「あと少しだから頑張ろうね」という温かい声掛けに励まされ、頑張っているようです。附属小の伝統であるファミリー清掃。協力し合いながら、一生懸命に掃除をすることで、ファミリーの絆は日に日に深まっています。附属小が「お掃除名人」の学校となるようにこれからも頑張っしてほしいと思ひます。

(清掃担当 鴻上 亜希)



給食室より

5月の給食に、旬の食材「そら豆」と「えんどう豆」が登場しました。この二つは、まさに旬の間しか手に入りません。せっかくの機会なので、2年生のぎんなん学習で「そら豆」と「えんどう豆」のさやむき体験を行いました。今までにお家でさやをむいたことがある子も、初めての子も、楽しそうに、真剣にさやむきをしている姿が印象的でした。明日の給食に登場するよと伝えると、大喜び。とても楽しみにしてくれていました。「そら豆」も「えんどう豆」も、どちらかという子どもたちにはあまり人気のない食材です。そのため、食べてくれるか心配していたのですが、「おいしい!」「たくさんおかわりしたよ!」と言いながら、もりもり食べていました。また、「さやむきをさせてくれて、ありがとうございました!」という声も。体験活動の大切さを改めて感じました。

普段は、なかなか時間がなくて難しいご家庭もあるかと思いますが、もうすぐ長い長い夏休みです。この機会に、お子さんと一緒に買い物に行ったり、簡単な料理を試してみたりと、食に関わる体験をご家庭でもしてみたいはいかがでしょうか。とうもろこしの皮むきやゴーヤの種・ワタとりなども今しかできない楽しい体験になると思います。
(栄養教諭 市川 祥子)



JRC 登録式～気づき・考え・行動する心～

5月に行った赤十字登録式では、ボランティア委員会が中心となり、赤十字の始まりや活動の意義、行動目標である「気づき、考え、行動する」について、クイズや劇で全校に伝えました。式の後には、ファミリーの6年生が1年生にバッジをつけてあげる場面もあり、温かい雰囲気になりました。

この思いを大切に、ボランティア委員会では「全力で全校をよりよくするために、気づき、考え、行動する!」という目標を掲げ、あいさつ運動やロッカークリーンプロジェクトに取り組んでいます。身近なところに目を向け、誰かのために行動しようとする姿に、人権を大切にする心の育ちを感じます。

これからも、自分やまわりの人を大切にしながら、やさしさの輪が広がっていくことを願っています。

(人権・同和教育主任 野本 星来)

相談室より

既にお知らせがあったかと思いますが、6月より終日勤務をさせていただくことになりました。週に一度の来校ではありますが、児童の皆さんと一日を通して関わりを持つことを大変嬉しく思っております。授業中の様子や学校生活の中での姿も拝見させていただきながら、子どもたち一人ひとりの思いや成長に寄り添ってあげたいと考えております。

保護者の皆様からのご相談もお受けしておりますので、お子さんのことで何か気になることやお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(スクールカウンセラー 高橋 寧々)

9月の相談日

4日、11日、18日、25日

10月の相談日

2日、23日、30日

10:00～16:30

予約専用電話：090-9451-9693



(切り取り)

子どもたちの様子等で、気付かれたことやぜひ紹介したいことがありましたら、学級担任までご提出ください。